



防災通信



加入世帯
回覧

2026年9月号
和合町自主防災隊

「簡易トイレの使い方を覚えておこう！！」

令和8年7月28日16時28分。熊本県で大きな地震が発生しました。最大震度7、マグニチュードは7.1。家屋の倒壊、ガス漏れによる爆発事故、道路の亀裂などたくさんの映像がテレビから流れ、被害の大きさを目の当たりにしました。

発災当初から避難所が開設され、たくさんの方が避難所に身を寄せました。

そこで問題になったことが「トイレの問題」です。

- ・配管が壊れているとトイレは流せません
- ・断水していると、いつものようにトイレは使えません
- ・トイレの使い方がわからない方がたくさんおられ、避難所のトイレはあっという間に凄い事になってしまいました。

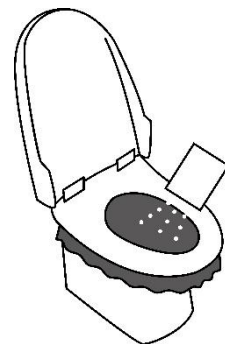
地震の直後は、断水していなくても、配管が壊れているかもしれませんので、いつものようにトイレを使ってはいけません。ビニール袋を使った簡易トイレを使います。

使い方を知らない人が、誤った使い方をすると、大変なことになります。

災害時には「簡易トイレを使う」ということを覚えておきましょう！！

簡易トイレの使い方

1. 便器の便座を上げて45ℓのビニールの袋をかぶせる
2. 便座を下ろし、簡易トイレ(携帯用トイレ)についている袋を便器にかぶせる
3. 袋の中に用を足す
4. 凝固剤を上から振りかける(尿、便が固まります)…水分をしっかりと吸わせること
5. ビニール袋(便器に被せたもの)を外し、空気をしっかりと抜いて袋の口を結んで、専用のごみ袋に入れて保管。すぐにはゴミの収集には来てくれません。



簡易トイレの備蓄は 家族の人数×5回(1日の回数)×7日 が目安です。

購入後は、必ず、一度使ってみることが大切です。ぜひ、家族で体験をしてみてください。

また、凝固剤の代わりに猫砂、ペットシート、おむつ、尿取りパッドなども使えますが、専用の物を準備しておくことをお勧めします。